



# 市長からの手紙

## 71 全史協

10月4日から6日に東広島市で行われた全国史跡整備市町村協議会(以下「全史協」という)の全国大会に出席しました。公務の関係で、3日の夜遅く到着して5日の朝早く広島をたちましたので、東広島市にある国分寺跡等の史跡を視察することはできませんでした。

全史協は、現在、413市・164町・16村の合計593自治体で構成される組織で、各自治体からの会費で運営され、史跡整備の促進活動・文化財担当者の専門研修の支援等の事業を行っています。全史協の下部組織として北海道から沖縄まで10地区に分かれた地区協議会があり、地区協議会でも毎年総会と研修視察を行っています。

関東地区協議会の本年度総会は、7月28日に栃木県下野市で行われました。下野市は、下野国の国分寺、国分尼寺、薬師寺などがあったところです。総会後の視察研修で国指定史跡下野

薬師寺跡に行きました。下野薬師寺跡は、足利学校や下野国分寺跡とともに大正10年に国指定の史跡になっています。現在、公有化面積は約25,000㎡(公有化率31.4%)で建物の一部が当時のままの工法・仕上げで復元されていました。

現地で感心したのは、専用アプリをインストールして、現地でタブレットやスマートフォンをかざすと、CG(コンピューターグラフィックス)画像による推定復元した下野薬師寺の建物を見ることができるような仕組みが作られていたことです。

この仕組みは、川越にある河越館跡に導入したら大変有効であると感じました。上戸小学校の隣にある中世武道の館跡地は、かなりの部分で公有化を進め発掘調査もしています。まだ、これから公有化予定の場所もありますが、跡地の活用には課題があります。史跡の上に復元する建物については、絵図など具体的にその姿を示す資料が必要です。しかし、残念ながら河越氏の館に関してはどのような建物があったのかを推定する資料に乏しく、どのような建物をどのように配置して復元するのか見いだせない状況です。CG上の復元であれば、かなり大胆な推測に基づいて復元画像をつくることができますので、当面この方法で来場した観光客に見てもらおうという方法が良いと考えています。

川越市長 川合善明



## ときも健康川柳優秀作品が決定しました!

国民健康保険課 ☎224-6147 ☎224-7318

川越市国民健康保険では、40歳から74歳までの加入者を対象に、特定健康診査を実施しています。

多くの皆さんに、健康について考え、健康づくりや健診を身近に感じていただくために、ときも健康川柳を募集しました。

今年度のテーマは「健診」「運動」「食事」。227作品の応募があり、その中からユーモアのある作品として、優秀賞2作品、入選12作品の合計14作品を選出しました。

10月20日には、市長から受賞された方へ、とき

も健康川柳の表彰状を授与しました。

選出された作品は今後、広報川越「保健・健康」のページで紹介していきます。また、特定健康診査を周知するためのポスター、チラシ、封筒やパンフレットなどにも掲載する予定です。

